

第2学年 第6時指導案【地元商店街復興計画】

1. ねらい

前橋市の事例から、群馬県や全国の商業の概要を知り、環境条件を地域の商業に生かすにはどのようにしたらよいか考える。

2. 準備

[教師] 教科書 地図帳 資料プリント ワークシート パソコン プロジェクター

[生徒] 教科書 地図帳

3. 展開

生徒の学習活動	支援、指導上の留意点	時間
<p>普段どのような店に買い物に行くか考える。大型家電量販店やショッピングモールの写真や売り上げランキングなどの資料から、群馬県では、小売業の売上高が大きいことに気付く。</p>	<p>ヤマダ電機、ベイシアなどを提示する。ライバル店に保護者が勤めている場合などがあるので、統計資料（群馬県の企業売上高）の提示にとどめる。 大型店進出による中心市街地の空洞化、郊外の均質化などについては簡単に説明する程度にとどめ、深入りせず、負の面を強調しすぎないようにする。 外資系の大型小売店も取り上げ、身近なところに外国から企業が進出していることに気付かせる。 日本と群馬県の産業別人口比を提示し、共通していること、特色に気付かせる。</p>	10
<p>前橋市の商店街を、賑わわせるにはどうしたらよいだろうか？</p>		
<p>前橋市の中心市街地商店街に設置された「にぎわい課」の存在から、商店街に現状に気づき、どうして商店街に賑わいが不足してきたのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやショッピングモールの方が、いろいろなもの一度に買える ・駐車場がないので不便 ・商品があまり安くない <p>前橋市の環境条件や長所を考える。それをもとに、にぎわい課の事業を参考にして、どのようにしたら商店街が賑わいを取り戻すことができるのか考え、発表し合う。</p> <p>[条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁所在地 ・人口が県内で一番多い ・東京まで約100km ・東京まで約1時間10分 ・ザスバ草津のホームタウンになった 等 <p>[方策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前橋市にしかない商品売る ・動く歩道を商店街に設置する ・おいしい水を生かした物が飲める店を出す 等 	<p>全国の商店街で“シャッター通り”が問題となっており、中心市街地商店街の空洞化は前橋市だけの問題ではないことを説明する。 全国の商店街の中には、駐車場がなく、商品も安くはないが活況を呈している商店街があることも説明する。 商店街と大型店を比較して、なぜ商店街には賑わわないのか考えさせる。それをもとに、賑わわせるための方策を考える観点の一つにするよう指示する。 前橋市の自然条件・社会条件や長所を考えさせる。意見が出てこない場合は、前橋市出身の生徒に答えさせる。意見が偏りすぎたり少なすぎたりしないよう、前橋市中心部の環境条件等を資料プリントに載せ、提示する。 「前橋市まちづくりにぎわい再生計画」に書かれていることを分かりやすくまとめ直して提示する。 2人ないし3人のグループを作り、相談しながら考えさせる。考えたことは、簡単に発表できるようまとめさせる。</p> <p><u>【評価】環境条件を商業にどのように生かしたらよいか考える（ワークシート・観察）《興》《考》</u></p>	27
<p>前橋市の現在の取り組みについて知る。</p> <p>本時の学習で分かったことや感想を書く。</p>	<p>前橋市の、地域の特色を生かした施策について、具体的に説明をする。今後、明るい展望が持てるようなものを提示する。 毎時、同じ質問に同じ形式で答えさせ、その変容を把握する。</p>	8

【資料】kob 2 年 (6) 地元商店街復興計画

群馬県の企業

【群馬県の企業売上高トップ 1 5】(平成 1 6 年 1 ~ 1 2 月)

	商号(会社名など)	所在地	業種	売上高(億円)	所得順位
1	(株)ヤマダ電機	前橋	家庭用電気製品小売業	9 2 2 0	2
2	(株)カインズ	高崎	各種製品小売業	2 4 5 8	4
3	(株)ベイシア	伊勢崎	総合スーパー	1 6 4 4	6
4	サンデン(株)	伊勢崎	自動車部品・付属品製造業	1 4 3 6	9
5	(株)三共	桐生	娯楽機械製造業	1 4 0 8	1
6	(株)平和	桐生	娯楽機械製造業	1 1 1 9	3
7	関東三洋セミコンダクターズ(株)	大泉	集積回路製造業	1 0 2 5	1 4
8	(株)ミツバ	桐生	自動車部品・付属品製造業	9 0 1	5 3
9	サンヨー食品(株)	前橋	食品製造業	8 7 4	
10	三洋ヒカリセールス(株)	大泉	集積回路製造業	8 3 8	8 2
11	(株)とりせん	館林	総合スーパー	7 6 0	4 9
12	(株)群銀カード	前橋	クレジットカード業	6 8 1	1 4 8
13	(株)フレッセイ	前橋	各種食料品小売業	5 8 4	1 0 3
14	(株)セキチュー	高崎	各種製品小売業	5 6 3	1 9 9
15	(株)フジタコーポレーション	太田	総合スーパー	5 5 8	1 9

売上高は1千万の位を四捨五入している 売上高では「マックス(株)」は10位
『'05~'06 ぐんま経済ガイドブック』(株)東京商工リサーチ前橋支店発行)より作成

日本の主な家電量販店

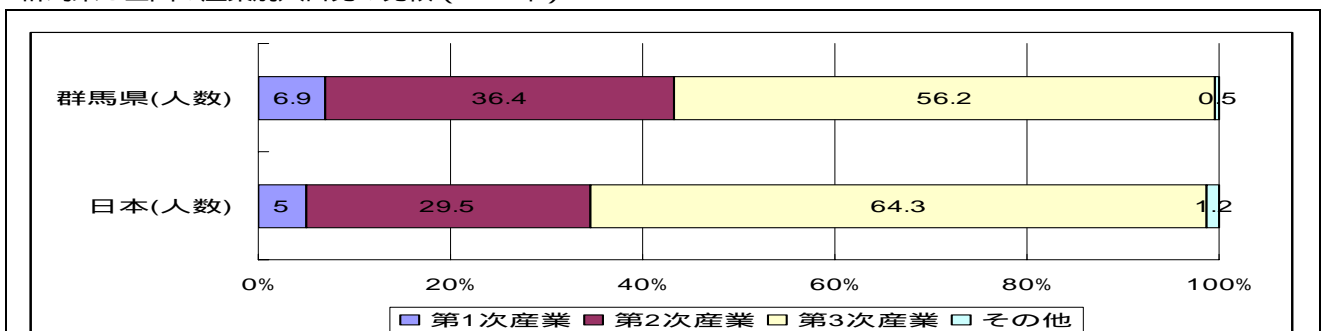
ヤマダ電機(前橋:売り上げ1兆1024億円) エディオン(売り上げ6712億円) ヨドバシカメラ
コジマ(宇都宮) ビックカメラ(高崎発祥)

ベイシアグループ

1958年に設立された「いせや」に始まる。1989年にカインズを分社、1997年に名前をベイシアに変更、スーパーモールいせさき(総面積15万㎡)をオープンする。ホームセンター「カインズ」、コンビニエンスストアの「セーブオン」、専門店の「ワークマン」「オートアールズ」「清閑堂」「ベイシア電器」など様々な店主に進出している。

群馬県と全国の産業別人口比

群馬県と全国の産業別人口比の比較(2002年)



	第1次産業	第2次産業	第3次産業
群馬県の就業者総数~約104万人	6.9%	36.4%	56.2%
日本の就業者総数~約6300万人	5.0%	29.5%	64.3%

出荷額で見た場合(全国)~第1次(1.4%) 第2次(27.7%) 第3次(63.6%)

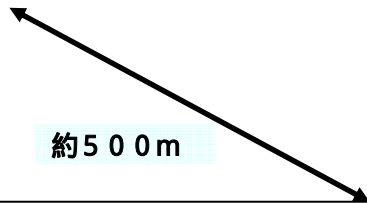
第1次産業~人間が自然に働きかけて営む産業。農林水産業、牧畜業、狩猟業など。

第2次産業~第1次産業の生産物の加工を主とする。鉱業、建設業、製造業(工業)など。

第3次産業~第1次、2次以外の産業。商業、金融業、運輸通信業、サービス業、自由業など。

前橋市の地図（省略）

千代田町を中心とした区域
（立川町通り、国道17号、国道50号に囲まれた区域）
MapFanWebの地図を使用



前橋市の中心地

県庁、県議会、県警察本部などがある
（県政の中心地）

銀行や企業の支店が多くある

国道50号線の起点（17号線より分岐）

JR 両毛線前橋駅

上毛電鉄の始発駅・中央前橋駅がある

かつては「厩橋（うまやばし）」とよばれていた
江戸時代、「関東の華」とよばれた前橋城の
城下町として栄えた

明治時代以降、製糸業・生糸取引で栄えた

今でもレンガ造りの倉庫が残る

戦争中には、米軍による空襲を受けた

前橋祭り、初市などには客が多数来る

ザスパ草津のホームタウンの一つ

【半径500m圏】・前橋文学館（萩原朔太郎などの資料） ・中央前橋駅 ・スズラン（デパート） ・広瀬川

【半径1km圏】・県庁 ・市役所 ・前橋るなばあく（児童公園） ・前橋公園 ・県立図書館 ・県民会館
・FMぐんま ・JR 前橋駅 ・上電城東駅 ・前橋女子高 ・勢多農林高

【少し離れると】・グリーンドーム ・敷島公園（競技場、バラ園など） ・群馬大学（医・教・社）
・前橋アリーナ ・前橋高 ・生涯学習センター ・新前橋駅 ・創世中等教育学校 ・群馬テレビ

前橋市の人口は32万人。粕川、大胡、宮城と昨年合併。県内第一の都市。東京から約100km。
キャッチフレーズは「水と緑と詩のまち」

前橋市の地図（省略）

千代田町を中心とした区域
上の地図よりも広域（半径1km圏内がすっぽり入る）
MapFanWebの地図を使用

千代田町を中心に、中心商店街が栄え商業の中心となっていた。地元のスズランを中心に、長崎屋、丸井、前三百貨店、前橋西部などの大型店があったが、スズラン以外は撤退。周囲にサティ（国領町 もとニチイ）、イトーヨーカドー（前橋駅前）などができた。中心市街地周辺や周辺市町村にショッピングセンターや郊外型大型店ができていく。今後、ダイハツ車体跡（ユニー系のアピタが中心）や前橋南インターチェンジ近く（ベイシア）、隣接地域に大型ショッピングセンターが進出予定である。

中心商店街は、中央通り、千代田通り、立川町通り、馬場川通り、オリオン通りなどから成る。

群馬県の売上高が大きいのはどんな企業か？

農・林・水産業など、直接自然に働きかける産業を、第()次産業

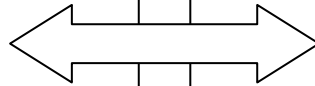
地下資源をとる鉱業と、農林水産物を加工する産業を、第()次産業

商業やサービス業、運輸業など、上の2つの産業以外の全ての産業を、第()次産業

群馬県(日本全国ほぼ同じ)で一番多いのは、第()次産業

**なぜ、これらの店を
利用するのだろうか？**

**商店街は、なぜにぎ
わわないのだろうか？**



**前橋市の環境条件を生かして、
商店街をにぎわわせるための方策を考えよう！！**

授業はおもしろかったですか？

- A．たいへんおもしろかった B．おもしろかった
C．あまりおもしろくなかった D．おもしろくなかった

今日の授業の感想

.....
.....
.....

【資料】

中心市街地活性化の基本コンセプト

「人が活き、詩情あふれる文化交流都市」(みんなでつくろう前橋の顔！)

基本方針

にぎわいづくり やさしい街と快適な暮らし 水と緑と文化を活用した前橋を代表する顔づくり

基本方向性

県都にふさわしいにぎわいのある都心地域の形成 生き生きと暮らせる快適な都市空間の整備
公共交通、歩行者ネットワークを重視した都市空間の形成 戦略プロジェクトとしての活性化拠点整備

戦略的都市機能

小売商業機能 観光機能 アミューズメント機能 文化・情報・交流機能 業務機能

前橋方式 10のビジョン

住むまち	定住促進 住みたくなるように
安心・安全のまち	女性の一人歩き可能 空き店舗対策 車と人の共生
歩いて暮らせるまち	半径300mのコンパクトシティ 公共施設の配置・自然の利活用 緑化推進
ゆっくり楽しめるまち	町と人の出会う機会 時間を過ごす「点」
個性あるお店が並ぶまち	郊外店との差別化・棲み分け 品揃えだけでなく もてなす・コミュニケーションが大事
知的満足の得られるまち	知的集積 周知するシステム
デザイン力のあるまち	一定の基準・検討委員会も必要
歴史的財産を大切にすまち	歴史的財産や町名などが軽視
市民が主役のまちづくり	
少しずつ実現していくまちづくり	明日からでも取り組めるよう 具体的な成果が目に見えるよう